

# 平成 30 年度 第 1 回西日本カーリング協議会 議事録

## ○日時

平成 30 年 8 月 12 日(日) 10 時~17 時

## ○場所

広島オフィス 4 階 第 A 会議室

## ○参加者

長谷川庄一前会長 友田剛会長 松本幸彦副会長

委員:田口朱美氏 三原隆文氏 山口学氏 福岡早智氏 寺尾一朗氏 辰段美和子氏 西岡氏

北村雅美氏 松之内達弘氏 河合嘉宏氏 三木竜司氏 佐々木正一郎氏 後藤浩史氏

監事: 野藤薫

事務局長 :中村英明(議事録作成者)

オブザーバー 財官氏(広島県協会)

定刻となり長谷川前会長が開会を宣した。

この後、以下の協議にはいった。

## ●議題

### 1 平成 29 年度西日本カーリング協議会収支報告

事務局より、配布資料にそって平成 27 年度西日本協議会の収支報告が説明された。

ついで野藤監事より、本協議会開始前に帳簿、通帳、領収書控え、現金等の監査を行ったところ、適正に処理されているとの報告がなされた。

熊本協会の後藤氏より熊本協会のペナルティ代が入っていないとの指摘があったが、補助費と相殺して計上していたためであることを事務局より説明した。来年度以降は相殺せず計上することとした。その後、29 年度協議会収支決算について承認を得た。

(決算書は添付資料を参照)

### 2 平成 28 年度 活動報告 (事務局より)

今年度の西日本協議会関連の大会結果報告が、事務局より以下のように行なわれた。

第 3 5 回日本カーリング選手権大会

男子 京都府協会 予選 1 勝 7 敗 第 8 位

女子 チーム広島 予選 1 勝 7 敗 第 8 位

#### 第 11 回日本ミックスダブルス選手権大会

チーム北村	第 4 位	
チーム島根	予選 2 勝 4 敗	予選敗退
チーム広島	予選 1 勝 5 敗	予選敗退

#### 第 26 回日本ジュニアカーリング大会

男子 京都大学 0 勝 7 敗

第 7 回全日本大学選手権大会 男子 京都大学出場 予選敗退

成績報告のあと、長谷川前会長よりダブルスでのチーム北村の活躍についての報告があり、またのちほど、チーム北村の北村委員より大会の報告もあった。

### 3 JCA 理事会・各専門委員会からの報告

#### ◇理事会

長谷川前会長より、以下の報告等があった。

- ・ J C A の収支報告がなされ、459 万円ほど黒字計上されている部分があるので J C A のストーンを購入することが決まっていることが報告された。
- ・ 先のオリンピックで好成績を上げた関係もあり、ヤフー募金や J A L のクラウドファンディング等でもたくさんの募金や支援をいただいている。

あと、コンプライアンス委員会と環境特別委員会からの報告が簡単におこなわれた。

アスリート特別委員会には西日本から北村委員と岡山協会の吉本氏が委員として選ばれている。

J C A の顧問弁護士として山中氏が入ることになった。

今年度より国際特別委員会がたちあがった、W C F の総会にも出席できる。

ナイジェリアが今年度登録となる予定である

#### ◇総務委員会

松本副会長より、以下の報告があった。

- ・ 2019 年 6 月に事務局が移転となる。
- ・ J C A の事務局長が 2019 年 4 月から小高氏に代わる
- ・ 競技者登録の会費については、しばらくの間検討からはずすということになった。
- ・ アスリート特別委員会には西日本から北村委員と岡山協会の吉本氏が委員として選ばれている。

る。

#### ◇競技委員会

友田会長より、以下の報告があった

- ・ 登録漏れがないように気をつけるようにとのこと
- ・ ジュニア・高校選手権などの出場辞退については 9/15 までに事務局まで連絡をとる

- ・ヒアリングの結果によると、ジュニアについては京都大学からの出場があるかどうか、高校生については熊本から女子の出場があるかどうかとのことであった。
- ・シニアについては11月までの返事となっている。
- ・今年度からフリーガードルールが5球となる「5ロックルール」が適用される。

#### ◇強化委員会

田口委員より、以下の報告があった。

- ・強化指定チームが決まっており、西日本からミックスダブルスでチーム北村が強化C指定となっている。
- ・今年もアイスパークがナショナルトレーニングセンターとなっている。
- ・日本選手権については、開催時期をいつにするかとかワイルドカードとして各ブロックの2位チームで争う大会を本戦の前に行うなどの議論がなされている。

#### ◇指導普及委員会

長谷川前会長より、代理で以下の報告があった。

- ・指導員の養成 9月に前後期で開催され、受講生30名のうち27名の合格ということになった
- ・JCAのカーリングスクールが7月に青森で開催され、50名の参加があり、9月にも愛知で開催され、こちらは19名の参加があった。
- ・新年度から指導員の資格の取得方法が変更になる予定である。

#### ◇医科学委員会

長谷川前会長、代理で以下の報告があった。

- ・第35回日本選手権大会と第11回日本ミックスダブルス選手権大会においてドーピング検査が実施された。
- ・西日本オープンの際にアンチドーピング講習会を北村委員を講師として開催することができた。各ブロックにおいても随時実施されている様子である。

このあと、松之内委員より、西日本の登録人数とJCAの登録人数がおなじでない協会があるとの指摘があり、過年度の協議会において双方の登録人数は一致すべきとの通達があったのではないかとの意見がでた。28年度の議題において、そのように決められていたが、昨年度は気が付かなかつたので、今年度からは徹底して双方バックで登録しなければならないということになった。

ここで長谷川前会長の挨拶のあと、友田会長をもとに新しい役員でということとなった。役員名簿の確認が行われ、新しく、島根協会に山口委員が加わったことと、愛媛協会に西岡委員が再び加わったことを確認した。事務局は会長付ではなく事務局長として独立し、中村役員が引き続き役職につくこととなった。役員名簿については、後日訂正したものを送付することとなっ

た。(役員名簿は添付資料を参照) 長谷川氏は名誉会長となった。これらにともなって、規約の変更も行われ、本日より施行することとした。

また、事業年度も J C A にあわせて 5 月～4 月というくくりに変更となった。

#### 4 第 20 回 西日本カーリング選手権大会について

##### ——決定事項——

- ① 開催日 2018 年 12 月 22 日(土)・23 日(日)
- ② 場 所 島根県浜田市 サンビレッジ浜田
- ③ 参加チーム(最大) 男子 8 チーム 女子 6 チーム
- ④ 試合形式 予選 2 ブロックリーグ戦 8 エンド 上位 2 チームによる決勝トーナメント戦  
準決・決勝は 10 エンド (但し、女子は決勝のみ 10 エンド)  
※3 位決定戦は 8 エンド
- ⑤ 参加費 1 チーム 65,000 円(弁当代は別途 500 円/人 1 日)
- ⑥ 出場枠 各県協会に 1 枠ずつ与えられ、残りの 1 枠は登録人数の多い協会に割り振られる。出場枠についての発表は 11 月 1 日とする。
- ⑦ チーム名 日本選手権の規定に準ずる
- ⑧ エントリー締め切り 2018 年 11 月 30 日(水)
- ⑨ レセプション なし
- ⑩ 公式練習 なし
- ⑪ ユニフォーム・ブラシ規定の適用 男女共日本選手権出場規定に準ずる。ただし、ユニフォームは 1 色でも可とする。
- ⑫ タイムアウト 従来どおりなし
- ⑬ 組み合わせ 事前に事務局にて抽選をする。抽選の様様については動画配信(録画)にて公開とする。
- ⑭ 審判  
各協会から 1 名ずつ必ず帯同審判をつける。審判を出せない協会はエントリーできない。帯同審判については、1 日あたり 5000 円の補助をだすこととする。なお、審判資格の有無については問わないが、最低限西日本選手権相当の試合出場経験者とする。選手(リザーブを含む)が兼ねることはできない。
- ⑮ アイスメイカー  
12 月 19 日 (水) の夜からアイスメイクをして氷をしあげるために、各協会から 1 名アイスメイク要員を出すことを義務付けた。アイスメイカーには協議会より 1 日 5000 円/人の補助金を出すこととした。出せない場合は事前に連絡をすることとする。
- ⑯ ペナルティ アイスメイカーを 1 日でも出せない場合については、木・金が 2 万円、土・日・月が 3 万円の罰金を科す
- ⑰ 計時 シンキングタイム制を導入する。
- ⑱ 日本選手権補助費を表彰時に手渡しする。

## (協議内容)

競技内容はほぼ例年どおり。

まず、島根協会よりサンビレッジ浜田の2つある製氷機のうち一つが壊れてしまっているとの緊急な報告があった。修理するかどうかの返事が来週以降になることもあり、まだ今年度の営業開始日もきまっていようではあるが、とりあえず、氷ができるという方向で話し合うこととなった。もし、氷が難しいということになれば、緊急ミーティングで再度協議ということが決まった。

(その後、製氷機はオーバーホールするとの連絡を受けて、予定通り開催できるとの結論となった) 日程については、航空券の関係もあり本選の一月前以上前に行うのがよいということとなり、年末年始は外して、12月の開催がよいということとなった。一部の協会から4人制とダブルスと別開催にしてほしいとの要望もあったが、審判の手配やアイスメイクがしにくいというのと、専用シートでするのも予約がとりにくいものあり、例年通り連続の開催となった。ただし、4人制とダブルスと両方にエントリーしている選手にとって体力面の不安が伴い、昨年もけが人まででたことから、ダブルスをブロック代表制にして4チームの参加にするという案もでたが、山口委員より、ダブルスの試合形式をダブルノックダウンにすることによって試合数がへり、体力面の心配も軽減されるだろうとの意見がでて、そのように決まった。日程については土日月の連休の案が優先されたが、24日の月曜日はリンクの事情により貸切は無理ということから、金土日の日程となった。金曜日はダブルスの試合から行うことも決まった。

また、事務局の改変から本部スタッフに各協会から1日1名を手配することとなった。過去の実績から今年度は、広島・愛媛・熊本よりスタッフを出していただくこととした。また、本部スタッフにも日当5,000円を補助することとした。計時審判については例年どおりではあるが、審判の資格については問わないが、ルールについて熟知していただくようにとの要望があった。今年度の審判長は松之内役員が当たることとなった。友田会長より、各協会でもB級審判以上をとっていただくようにとの要望もあった。

エントリーは11月末であるが、エントリー締め切り後に予選会などがある場合は事前に事務局まで連絡しておくこと、また事務局より大会運営の関係から事前抽選にしてほしいとの要望があり、抽選の様様をネット中継することで不正のないように行うことを約束して、そのようにきまった。また、4人制の公式練習も各シートを回せる時間もないので、無しということになった。ユニフォームについての要望があり、2色から1色でもよいとのルールの緩和措置が行われた。

西日本協議会への選手登録は10月31日まで、時間厳守のこと

## 5 第12回西日本ミックスダブルスカーリング選手権大会について

——決定事項——

- ① 開催日 2018年12月21日(金)22日(土)

② 場 所 サンビレッジ浜田

③ 参加チーム数 最大 8チーム

④ 試合方法

最大.8チーム ダブルノックダウン方式

ド

⑤ 参加費 1チーム 35,000円(弁当代は別途)

⑥ 出場枠 11/1に発表

エントリー締め切り 2018年11月30日(金)

⑦ レセプション なし

### (協議内容)

西日本選手権とともに協議され、日程は金曜日からの日程となった。

また、北村委員より、JCAの強化指定に入ったチームを西日本選手権大会にシードで出場させてほしいとの要望があり、来年度より採用することが決まった。

その他の大会について、シニアの男子チームが広島と岡山より出場の予定があり、予選を西日本選手権の時に空いた時間にしてもよいかということになった。出場の意志については11月末までに事務局まで連絡していただくことにした。

大会が開催された場合は、参加費を30,000円とし、2試合制となる予定とした。

またシニア女子について京都協会から、京都の3人と足りない人数を東京協会から補充したいとの要望があり、西日本ブロックから単独のチームが組める場合はそちらを優先するとの但し書きをつけて、そのように決まった。今年度だけの特別扱いとする。

## 6 日本ミックスカーリング西日本代表選考について

6月倉敷で開催される予定の、ヘルスピアカップで選考会を同時開催することになったが、岡山県協会よりスムーズな進行をしていただくことを条件に了解いただいた。試合に計時を入れることにし、出場チームもMAX6チームということにした。チームのレンタルメンバーについても友田会長と各協会長の判断にゆだねるということとなった。

## 7 西日本オープン大会について

① 開催日 2018年12月1日(土)・2日(日)

開催場所 島根県浜田市 サンビレッジ浜田

② 参加費 30,000円 (参加状況によっては変更の可能性有。その際は後日連絡)  
(弁当代は別途)

③ 試合形式 チーム数によって決定 チーム数MAXは24チーム

他チームからのレンタルはあり、3人でのエントリーも可6人まで。

④ エントリー 11/15(土)まで

## (協議内容)

リンクの氷の状態が不確定であるが、このようにきまった。もし開催できない場合は再度検討ということとなった。チーム数によっては一日開催になることも考えられる。

この後、今シーズンの主要大会への西日本としての参加不参加の確認が以下のように行われた。

- ・日本ジュニア選手権男子女子 検討中
- ・高校生選手権大会 熊本協会より参加するかもしれない

## その他

京都協会より質問があり、4人制とダブルスにて全国大会に出場決定後に大会出場を辞退した場合、次年度の西日本選手権大会に出られないというペナルティがあるが、そのペナルティのかかる対象はどこなのかを確認する意見があった。チームと選手と協会にペナルティがかかるという判断が再確認された。不慮の事故などの場合は対象外となることも付け加えられた。

## 8 平成30年度西日本カーリング協議会 予算案について (別紙「予算書」参照)

経費の補助等追加事項もあったので後日正式なものを発送することで確認された。

予算案は別紙参照

追加として、

- ・大会の本部事務にも補助をだすことになった。
- ・事務局長事務費としての手当が5万円から12万円に値上げとなった。  
広島協会等より会員の方への説明のためにもその経費の根拠を示してほしいとの要望があったので、別紙で業務リストを用意することにした。
- ・アイスキングを青森市から浜田市が譲り受けられる方向で動いているので、その運送費を協議会で持つこととなった。
- ・新しいトラロープ代を追加することとした。

## 9 その他

松本副会長と松之内委員より京都と泉佐野市に来年度には完成予定のスケートリンクについての現状の話があった。リンクが専用シートになるように働きかけている状況であるとのこと。

最後に各協会からの現状などの報告はアンケートを熟読するというとし、閉会となった。

以上